

第 25 回総会・シンポジウム プログラム

第 25 回総会・シンポジウム プログラムへの参加を希望される方は、以下の Zoom ミーティング事前登録フォームよりお申し込みください。 自動返信メールでミーティング参加用 URL をお送りします。
※フォームへのお申込み後、数時間経過しても返信メールがお手元に届かない場合は事務局までご相談ください。
※総会には会員の方のみ参加可能です。メールにて別途ご案内をしておりますのでそちらをご参照ください。

=====

開催時刻：2024 年 1 月 27 日 01:30 PM 大阪、札幌、東京

このミーティングに事前登録する：

https://list-waseda-jp.zoom.us/meeting/register/tJErdOqvpzouHdEA0yxr2FV_ZDwuboi1ITiT

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

=====

日時:

2024 年 1 月 27 日(土)

会場:

オンライン会場(Zoom を使用)

開場 12 : 30

開会の辞 12 : 45

総会 12 : 50~13 : 20

休憩 13 : 20~13 : 30

研究発表 13 : 30~14 : 00 ※1 人あたり 30 分 (発表 20 分質疑応答 10 分)

休憩 14 : 00~14 : 20

シンポジウム 14 : 20~17 : 20

「大地的なるもの」の人類学——人新世における「人間」と「自然」

「人新世」が、地質学的時間が歴史的・社会的時間ともはや区別不可能になった時代を意味するとすれば、今日の人類学にとって、「大地的なるもの」は無視することのできない主題である。近年の人類学においては、人間と他の生物種の関係については多くの議論が積み重ねられてきたが、他方で、地質学的で無生物的な自然と人間の関わりについての議論は決して多くない。本シンポジウムは、現代世界における「人間」と「大地」について多様な現場から考察してきた研究者たちを招くことで、「大地的なるもの」が避けがたく現出する時代をとらえうる人類学の可能性を探る。「大地」が、人間の営みにとっての不動の背景でないとするならば、それは何なのか——本シンポジウムが問おうとするのはそのことである。

趣旨説明

里見龍樹 (早稲田大学)

発表者

- 内藤直樹（徳島大学） 「流れと留まりのランドスケープ：アフリカの再生可能エネルギー開発をめぐるテクノロジー・投資・生業」
- 森下翔（大阪大学） 「数理的大地の社会的生命」
- 植田将暉（早稲田大学） 「大地が権利を持つとき：アメリカ合衆国『自然の権利』法の視点から」
- 後藤健志（立命館大学） 「アマゾニアにおける文化的領土の策定をめぐる工学的過程：アヤワスカを介した人間と植物の生成変化」

コメンテーター

- 橋爪太作（明治大学）
- 山田和芳（早稲田大学）

タイムテーブル

- ・ イントロダクション（10分）
里見龍樹
- ・ 話題提供 1（25分）
内藤直樹
- ・ 話題提供 2（25分）
森下翔
- ・ 話題提供 3（25分）
植田将暉
- ・ 休憩（10分）
- ・ 話題提供 4（25分）
後藤健志
- ・ コメント①（15分）
橋爪太作
- ・ コメント②（15分）
山田和芳
- ・ パネルディスカッション（30分） *フロアとのやり取りも含む

閉会の辞 17:20

共催：早稲田大学文学研究科文化人類学コース

※今回の総会・シンポジウムでは懇親会を行いません。

お問い合わせ先

〒162-8644 新宿区戸山 1-24-1
早稲田大学文学学術院内 現代文化人類学会事務局
E-mail :
vita-jimu@list.waseda.jp
Website :
<https://currentanthropology.jimdofree.com/>